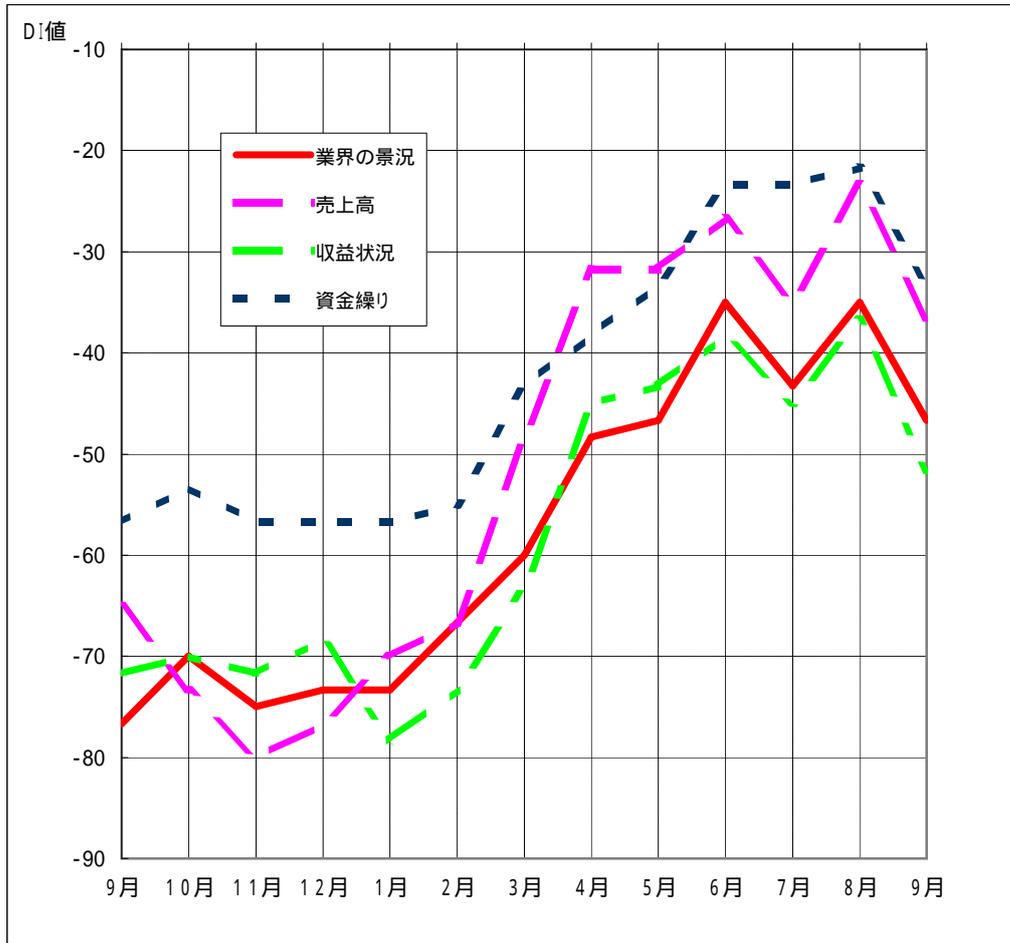


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成21年9月～平成22年9月

単位:ポイント



	H21				H22								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
業界の景況	-76.7	-70.0	-75.0	-73.3	-73.3	-66.7	-60.0	-48.3	-46.7	-35.0	-43.3	-35.0	-46.7
売上高	-65.0	-73.3	-80.0	-76.7	-70.0	-66.7	-48.3	-31.7	-31.7	-26.7	-35.0	-23.3	-36.7
収益状況	-71.7	-70.0	-71.7	-68.3	-78.3	-73.3	-63.3	-45.0	-43.3	-38.3	-45.0	-36.7	-51.7
資金繰り	-56.7	-53.3	-56.7	-56.7	-56.7	-55.0	-43.3	-38.3	-33.3	-23.3	-23.3	-21.7	-33.3

9月のDI値は前年同月に比べ、全項目が8ヶ月続けて改善した。「業界の景況」DI値は30ポイント、「売上高」DI値は28.3ポイント、「収益状況」DI値は20ポイント、「資金繰り」DI値は23.4ポイントとそれぞれ改善した。前月比で見ると、8月に回復したDI値が7月分を下回る悪化となった。輸出の鈍化や国内市場の不振等により製造業を中心に受注量の減少傾向が広がっている。デフレ傾向や消費・需要の停滞による影響も根強く、先行き不透明な状況が続いている。

組合の特記事項からは、鉄鋼・金属製造業、一般機器製造業では円高による受注量の減少、単価の下落があったという声が、食料品製造業、商店街などでは残暑の影響で売上が減少したという声があった。行政庁に対し、国内需要の増加や、消費税、固定資産税などの課税制度の見直しを望む声もあった。